

YAMAHA Motorcycle

EXCLUSIVE Model

SR400 Final Edition Limited



SR

SINCE 1978

Final Edition



写真は合成によるイメージです。



43年分の、特別。

何より楽しく、そして美しい。

ひとたび走り出せば、

そのビッグシングルならではの心地良い鼓動感が、
街で、またワインディングでも思う存分楽しめる力強い走りが。

さらには、週末の朝、ガレージで。

時にはゆっくりと、静かに対話を重ねる時も、また嬉しい。

オートバイの原点とも呼べるシンプル、かつ美しいスタイリング。

それは数多のライダーを魅了し、そして今も魅了し続けている。

SINCE 1978.

ここに、特別の装いを纏った、まさに43年分の「特別」なSR。

伝統と伝説に彩られた最後の一頁を飾る、

珠玉の一台、SR Final Edition Limited。

いま、あなたのもとへ。



ブラックのサンバースト塗装を施したタンク。職人の手作業によるため、
ひとつとして同じものはない。音叉マークは真鍮製で、経年変化を楽しめる。



ボディカラーとのベストコーディネートを目指し、
前後リムには新色アルマイト(カッパーブラウン)を採用。



メーターパネルには黒の文字盤を採用。タコメーターには、Final Editionの文字をあしらった。
※メーターパネルは撮影用に点灯したもので、実際の走行状態を示すものではありません。



本革調シートを採用。シート天面はダークブラウン、
側面はブラックとし、専用色のステッチを施している。



サイドカバーには、Final Editionの文字入り電鍍立体エンブレムを採用。
右側のエンブレムには001から1000までのシリアルナンバーを刻印している。

SRが「SR」であり続けるために—ヤマハ魂の伝承。

“ヤマハ魂の伝承～宿る技術・技能、そして魂を永久に”を開発コンセプトに。初期モデルの1978年から長きに渡り培ってきたSRの世界観・ブランドをこの先も残し、受け継いで行くため、いかに魂を織り込み、お客さまに提供していくかを常に考えながら、SR400の開発は進められてきた。

変えられないところ、変えるべきところ

40年以上作り続けてきたSRは、法規対応や時代のニーズに応えながら、変えるべきところは変えていかなければならない。だが、どうしても変えられない部分がある。たとえば、キックスタートへのこだわり。セルスタートではなくデコンプレッサーを握って、思い切りキックを踏み抜いてエンジンをかける。この儀式こそがSRの魂でありアイデンティティである。

ビッグシングルならではの豊かなトルクと、低・中回転域での力強い鼓動感を味わえるエンジンは、一方では空冷ならではの、整然と並ぶ冷却フィンが造形美を醸し出している。さらにフレームパイプの一部をオイルタンクとして活用し、エンジン全高を抑え、シングルエンジン本来のスリムさを活かした美しく軽快なボディは変わることなく継承されている。



技術と技能の伝承

サンバースト塗装が施されたタンク。複雑な曲線を持つエキゾーストパイプ。クロームメッキ仕上げのマフラー。さらにクリア塗装のクランクケースカバーや、アールが美しく複雑な折り返しの縁をもつメッキフェンダーなど。SRにはクラフトマンシップにあふれる数々のパーツが欠かせない。車両の組立

も、全ての組立工程を二人一組で行うセル生産方式。そのため生産現場では“匠人財制度”を設け、組立作業者の一人一人が日々、能力を磨き続けてきた。

【エキゾーストパイプ】

SRのエキゾーストパイプは、フレームを避けるように複雑な曲線を持ち、しかも今となっては珍しいスチール製のメッキタイプ。

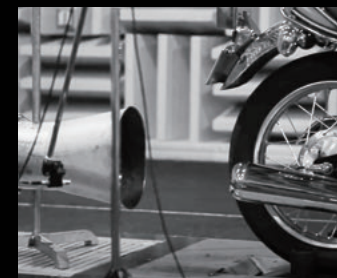
ベンダーなどの大型機械を使用するが、職人の手を要する工程も数多く存在する。パイプは3重管を使用し、材質は一番外側のみスチール。内部は錆を防止するためにステンレス製。このパイプのなかに、曲げ加工を施したときにパイプが潰れてしまわないように砂を詰め、栓をした後にベンダーという機械で一気に曲げる。合計3回の曲げ加工を行い、エキゾーストパイプの形を決定する曲げの工程は終了。曲げ加工を終了したエキゾーストパイプは、栓抜き、砂抜き、内部洗浄を終了した後、その両端の内部を広げ3重管を固定する。この作業は、職人の手で微妙に角度を調整しながら行われる。両端の内部を広げたパイプは、その内部を機械によって溶接する。しかし、その仕上がりの確認と外側の溶接も、職人の手によって行われる。その後、水圧によって内部に漏れないか検査を行う。最後は完成型に合わせたジグに装着し、その角度やフレームの逃げ位置が正確な場所にあるかチェックを行う。ここにも職人の厳しい目が光り、徹底的に検査される。



SRらしい心地良い音色・鼓動感

そもそも“SRらしい良い音”とはどういうものなのか。まず、過去のキャブレター仕様から2016年モデルのフュー

エルインジェクション車両まで、膨大な量のマフラー音を聞き比べてみた。その結果、キャブレター仕様の1台を最も“SRらしい音”と設定した。さらにこの排気音の解析結果により「音量が少し大きい方が聞こえが良く」「ビッグシングルらしい低音があり」「歯切れのいいサウンドだと心地良い」ということがわかった。つまり「音量」「低音」「歯切れ」の3要素が導き出されたのだ。その3つの要素を織り込んで、SRらしさを感じられる排気音を目指した。マフラーの外見はこれまでとほぼ変わっていない。だが目には見えない中の構造を大幅に変えることで、規制に対応しながら、これがベストと思える排気の音色にチューニングしている。SRらしい音色を決定する作業は、感性の部分。まさにヤマハが最も大切にしているところだ。



【クランクケースカバー】

SRのクランクケースカバーは、今となっては数少ないクリア塗装仕上げ。しかしクリア塗装が最終仕上げとなる以上、その手前の素材の輝きが命となるが、この輝きは全て職人の手による。磨きの作業は大型のグラインダーに研磨用のバフを装着し、そこにケースカバー表面を押しつけて行う。といっても、ただじっとしているわけではなく、凹凸のあるケース表面を均すため、常に動かしている。しかも高速で回転するバフにケースが引っ張られ、かなりの力も必要だ。バフが当たるケース表面をこまめに確認しながら、じっくりと仕上げている。さらに凹凸の多いSRのクランクケースは、どんなに角度



を変えてもバフが届かない部分ができる。そこで、その細部を下磨きするために小回りの利くリユーターを使用する。細かいところだけに、磨き残しを作らず、しかも均一に磨くには熟練の技を必要とする。リユーター処理が終わったら、再びグラインダーとバフを使い、下磨きを進めていく。どの番手のバフを使って、どの程度まで仕上げるかは、その日の天候や鑄造されたケースカバーのコンディションによっても変わってくる。それを見極めるのは、やはり長年の経験によって培われた人間の目と手の感覚だ。最終磨きの工程では、通称"サイザル"と"ブリーツ"の2種類の磨きを、大小それぞれのバフで行うため、結果4種類の磨きが行われる。大小2種類のバフを使うのは、より細かい場所にもバフを行き届かせるため。この工程に入ると、ケースカバーはいきなり輝きを増し、最終的には鏡のような仕上がりとなる。しかし、ただ強く長くバフを当てれば輝きが増すのではない。バフにケースを当てては確認する、という作業が延々と繰り返されるのである。

【サンバースト塗装】

タンク塗装もオートメーション化が進み、システムアップされた機械によるものが殆どだが、「サンバースト塗装」に関して

は昔ながらの、職人の手による塗装

が行われる。まず塗装前の

タンクには、塗料が

しっかりと定着

するための被膜

化成処理が行われ、

その後タンク全体に基本色を塗装する。作業は全てマシン毎にセットアップされた機械で行われるものの、タンクをはじめとする塗装パーツは複雑な曲面で構成されているため、細部の仕上げは職人の手によって入念に塗装される。次に、タンクサイドのボカシ塗装のためのマスクング処理を行う。



台座の上でタンクを回転させな

がら、ビニール付のマスクング

テープで塗装しない部分を覆っ

ていく。直線的なテープをライ

ンに合わせて曲面に変えていく

その作業は、まさに職人技だ。

続いてマスクングされていないタンクの左右部分にボカシ塗装を行う。

ここでの作業は、全て職人による手作業。使用するのは汎用ラインではなく、

手吹き塗装専用の個別ブースを別に設置している。さらに塗装担当者も、

手吹き塗装専任。時間をかけ、丁寧にベースカラーとボカシという二つの

塗装行程を職人の手で行うため、できるのは一日に5台が精一杯。サンバー

スト塗装の美しさは、このような職人たちの豊富な経験と高度な技術があ

ってこそ、初めて可能となるのである。



素材へのこだわり

「ヘッドランプのレットロなガラスレンズを、プラスチックに変更するべきか」。

それは、大きな議論であった。だが最終的には「ガラスのヘッドランプ

は、SRのアイデンティティの一つである」という結論になった。

SRユーザーはもちろん、SRに期待し、憧れ、あるいはファンで

ある多くの方々の存在。そのためにも、ガラスレンズにこだわって

作り続けてきた。

【スチールフェンダー】

機能パーツでありながら、スタイリングを決める外装パーツでもあるフェ

ンダー。SRはデビュー以来、ずっとスチール製のメッキフェンダーを採用

している。作業はまず直線的な鋼板を、曲面で構成されたプレス機の金型

にセットすることから始まる。1回のプレスでその仕上がりの良し悪しが

決まってしまうために、簡単に見えるが熟練の技を必要とする。次に最初の

金型をセットした同じプレス機に、フチを切り離す金型を同時にセットし、

最初のプレスで出来上がったフェンダーから余分なフチを切り離す。フェ

ンダーらしくなった湾曲した鋼板の反対側には、余分な鋼板が積み重ねら

れていく。この時も、製品に傷が付いていないかが入念にチェックされる。

ゴミの混入は製品を傷つけてしまうほか、金型にもダメージを与えてしま

うため、常に注意が払われている。フレームに装着するための穴やテールラ

ンプ用などの穴開け加工も、プレス機を使って行われる。このあと配線を束

ねるステーなどの溶接作業を行い、さらにその溶接跡を平らに均すなど、職

人の手による作業が続く。フェンダーは、オートバイのスタイルを決める上

で重要なパーツであり、中でも、SRのフェンダーが特に美しいといわれる

所以でもある。

SRらしさとは時間をかけて培っていく“愛着”

SRは空冷・単気筒で、オートバイの原点を体現し続けるモデル。それを表現す

るとはどういうことなのか。答えがあるようでなく、人それぞれ色々な解釈があ

って、それ自体がまさに40年以上続くSRらしさでもある。どんなカラーリ

ング、デザインで表現したらSRの良さを届けられるのか、と考えていく中で

自然に生まれてきたのが“愛着”という表現だ。その“愛着”が沸いていくため

に欠かせないのが、“飾りすぎない”、“完成しすぎない”ということ。SRらしい

基準をクリアしたところまでとどめておいて、あとは自分自身が色々な形で入

り込めるよう、お客さまがそれぞれのSR物語をつくっていただけるような余白を

残してデザインしている。是非たくさん乗っていただき、SRと様々な場所に出

かけて思い出をたくさん作っていただきたい。時に磨いたり、眺めたり、

撫でてみたり、自分ならではの楽しみ方で、永く乗っていただきたい。この先、

3年、5年、10年と時が経って、お客さまがどんな物語をSRと紡いでいる

のか....それを見届けていきたい。

EXCLUSIVE Model

本モデルは、順次リニューアルを進めているYSP及びアドバンスディーラーのみで販売する「ヤマハモーターサイクル エクスクルーシブモデル」です。ご購入につきましては取扱店にお問合せください。

SR400 Final Edition Limited

メーカー希望小売価格 748,000円 [消費税10%含む] (本体価格 680,000円)

●価格は参考価格です。メーカー希望小売価格は消費税10%にもとづく価格です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●メーカー希望小売価格(リサイクル費用含む)には保険料、税金(消費税除く)、登録などに伴う諸費用は含まれていません。

SR400(SR400 Final Edition Limited) 主要諸元

認定型式	2BL-RH16J
車台打刻型式	RH16J
原動機打刻型式	H342E
全長 / 全幅 / 全高	2,085mm / 750mm / 1,100mm
軸間距離	1,410mm
シート高 / 最低地上高	790mm / 130mm
車両重量	175kg
燃料消費率*1	国土交通省届出値 60km/h 定地燃費値*2
	WMTCCモード値 (クラス)*3
	29.7km/L (クラス2 サブクラス2-2) 1名乗車時
最小回転半径	2.4m
原動機種類	空冷、4ストローク、SOHC、2バルブ
気筒数配列 / 総排気量	単気筒 / 399cm ³
内径×行程	87.0×67.2mm
圧縮比	8.5:1
最高出力	18kW (24PS) / 6,500r/min
最大トルク	28.9N・m (2.9kgf・m) / 3,000r/min
始動方式	キック式
潤滑方式	ドライサンプ
エンジンオイル容量	2.40L
燃料タンク容量	12L (「無鉛レギュラーガソリン」指定)
吸気・燃料装置 / 燃料供給方式	フューエルインジェクション
点火方式	TCI (トランジスタ式)
バッテリー容量 / 型式	12V、2.5Ah (10HR) / GT4B-5
駆動方式	チェーン
1次減速比	2.566 (77/30)
2次減速比	2.947 (56/19)
クラッチ形式	湿式、多板
変速装置	常時噛合式5速
変速方式	リターン式
変速比	2.357/1.555/1.190/0.916/0.777
フレーム形式	セミダブルク्रेードル
キャスター / トレール	27°40' / 11.1mm
タイヤサイズ (前・後)	90/100-18M/C 54S・ 110/90-18M/C 61S (前後チューブタイプ)
制動装置形式 (前・後)	油圧式シングルディスクブレーキ・機械式リフティングレール・ドラムブレーキ
ヘッドランプ	ハロゲンバルブ / 12V、60/55W ×1
乗車定員	2名

- *1: 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法、車両状態 (整備、仕様) や整備状態などの諸条件により異なります。
- *2: 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづく燃料消費率です。
- *3: WMTCC モード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづく計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。

WMTCC モード値については、日本自動車工業会ホームページ
(http://www.jama.or.jp/motorcycle/) もご参照ください。



●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容の一部変更と異なる場合があります。●車体色は撮影条件、印刷などにより実際の色と異なる場合があります。●写真は撮影用イメージです。仕様が実際のものとは異なる場合があります。●一般公道では無着陸走行をせず、安全な運転をお願いします。



NEW COLOR

1,000台限定カラー

■ アクセサリーのことなら



株式会社フイズギア
〒437-0061 静岡県袋井市久能3001-8
https://www.ysgear.co.jp/

0570-050814

受付時間 月～金曜 (祝日、弊社所定の休日を除く) 9:30～12:00 13:00～17:00
●一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
●IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

- メーカー希望小売価格は消費税10%にもとづく価格です。●掲載価格には工具、送料等は含まれていません。
- 商品の仕様及び価格は予告なく変更される場合があります。●商品のカラーは印刷のため実際と異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。●商品は予告なく販売を終了させていただく場合があります。
- カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のクレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。



YJ-20 ZENITH
メーカー希望小売価格 22,000円
[消費税10%含む] (本体価格 20,000円)
●フルサイズ設定 (XS→XXLの6サイズ設定) 一部カラーは取付・カラー・アンチスワッシュ、バルブホブ、フラッシュバルブ、メタリックグリップ、ラバーグリップ、メタルブラックス / MS2種 / SG●開閉式ダイヤルベンチレーション ●アンチフォグシールド採用 ●シールドホルダー ●メガネレスト採用



TT-419 ウォッシュブルグローブ
メーカー希望小売価格 6,490円
[消費税10%含む] (本体価格 5,900円)
●カラー:ブラック、ブラウン ●サイズ:メンズ S、M、L、LL、3L レディース / M、L ●汚れたら洗濯可能な天然皮革ウォッシュブルレザー採用 ●シンプアルなデザインの定番レザergローブ



TT-401 ショートブーツ
メーカー希望小売価格 23,980円
[消費税10%含む] (本体価格 21,800円)
●カラー:ブラック ●サイズ:24.5～27.5cm ●高級感のある半革ライディングシューズ ●くるぶし部にパッドを内蔵 ●ベルクロ式で握きやすく、軽量化されているので、長時間のライディングでも疲れにくいブーツ



パフォーマンススタンパー
メーカー希望小売価格 30,800円
[消費税10%含む] (本体価格 28,000円)
●振動を抑え、乗り心地、ハンドリングを向上させ、フーリング、長距離移動でも疲れを軽減する専用車輪専用車輪制動ダンパー・ワンクス上上の乗り心地を提供

SR400 Final Edition Limitedの
さらに詳しい情報はこちら



ヤマハ発動機株式会社
カスタマー コミュニケーション センター

〒438-8501 静岡県磐田市新井2500 ☎ 0120-090-819
受付時間 月曜～金曜 (祝日、弊社所定の休日等を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

2021年1月現在 ●このカタログはFSC®認証紙を使用しています。●この印刷物を無断転載・無断使用することはお断りいたします。



ヤマハでは、廃棄二輪車のリサイクルを推進しています。※リサイクルマークがついていない車両であっても、廃棄時にリサイクル料金のご負担はありません。 ※但し、廃棄二輪取扱店に収集・運搬を依頼する場合の収集運搬費用はお客様のご負担となります。詳しくは、廃棄二輪取扱店にお問い合わせください。



ご購入のヤマハ二輪車(新車)には2年保証が適用されます。対象はヤマハ発動機販売(株)が販売する二輪車です。(競技用モデル・電動アシスト自転車<PAS>を除く) ※詳しくは取扱説明書をご覧ください。日常点検、定期点検を必ず実施してください。

安全で快適なバイクライフのために。

- 交通ルールを遵守し、思いやり運転で走りましょう。●運転者と同乗者(乗車定員2名の場合)は適切な規格やサイズのヘルメットを選び、正しくかぶりましょう。●自賠責保険は必ず加入、更新をしましょう。●違法改造はやめましょう。●駐車の際は交通ルールとマナーを守りましょう。●日常点検、定期点検整備は必ず行いましょう。●急発進や長時間のアイドリングはやめましょう。●昼間はヘッドライトを下向きにしましょう。●ご使用前には、取扱説明書を必ず読みましょう。



「グッドライダー」啓蒙登録で、バイクの事故と犯罪防止。



ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C018109



ヤマハ発動機販売株式会社

〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2
テクノポート大樹生命ビル3階